

授業科目 比較技術研究 I	単位 2 単位
授業担当者	授業期間 休講
授業の題目と概要 「近現代における生産技術に対する意識変化」 近現代における製作・製造技術の継承と変容の様相を、製品の流通状況と形態比較の分析に基づき解明する研究事例を紹介する。また「流通」と「拡散」をキーワードに、現代社会における民族文化としての技術と世界文明を支える技術の並存について考察する。	
授業の内容と計画 現存資料はもとより資料など視覚情報の観察を通じて構造理解力を養い、形態差・用途差などに着目した比較分析力を培うことが目的である。技術が「文化」ではなく「文明」の所産であると認めるまでに意識が変化した現代人の感覚にも踏み込んで考えてみたい。 ある人物・企業が考案・開発（発明）したオブジェが実用化され、商品化に成功すると、ほぼ必ず追随する他者（社）が現れて類似品や模造品（偽造品）の販路を拡大していく。 流通の究極目標は世界制覇にある。近代国家は、常にオリジナリティを有する製品開発者たちの功名心を煽り、技術力・生産力の向上を奨励した。メートル法や太陽暦の採択を例示するまでもなく、あらゆる分野で国際規格の平準化が進み、核開発技術の「拡散」も現実問題となった。言語と画像処理の違いから、多様に見える情報伝達産業も、装置を稼働させる技術力は、ほぼ完全に一元化している。この特論では、こうした現象が国際社会全体に及ぼした影響にも言及したい。	
使用する参考書、参考論文等 使用しない	
成績評価基準 レポートの内容により査定する	
その他の留意事項 写真・実測図・その他の視覚情報を添えて実例であることを示す	